

荒天のため1日延期された中総体陸上競技大会



閉会式後の写真、みんないい笑顔

中学生15名全員が

陸上競技大会

が、6月6日(月)中央公園陸上競技場で開催されました。

3年ぶりに球技・武道大会と別日開催になり、本校からは15名の中学生全員が選手として出場しました。僅か2週間の練習での出場ですが、「挑戦するチャンスがあれば、汗を流す」「勝負の相手は自分」を基本に、全員が出場しました。

大会に先だって6月1日(火)激励式を行いました。呼名・返事のあと、全員が決意を發表し、和

学校前の紫陽花



6月、あじさいの色も鮮やかになってきました。早くも1学期の折り返しを過ぎました。行事や取組については、ほぼ計画通りに実施することができています。今号は、中総体陸上競技大会、玉小米の話題を中心に、子どもたちの様子を伝えたいと思います。

灯

玉之浦小中学校だより

(あかり)

第 6 号
令和4年6月13日



志さんが選手宣誓を行いました。最後に知也さんをリーダーに、小学生が元気なエールを贈ってくれました。

大会当日、100m・砲丸投げ・走り高跳び・リレーと、全員が1〜2種目に出場しました。「勝負の相手は自分」として各種目に臨みましたが、多くの生徒が自己記録を更新していました。中でも、1年女子100mに

出場した綾音さんは、予選を組の1位で通過し決勝へ：決勝でも3位入賞の快走でした。また試走の時にバトンの練習ができなかったリレーについては、テイクオーバーゾーン内でのバトンパスに不安がありました。3組ともゴールまでバトンを繋ぎ、公式記録を残すことができました。低学年リレーでは、男女とも6位入賞を果たしました。あつぱれ！



綾音さん

匠也さん

太志さん

未来さん

子母心さん

清悟さん

優斗さん

和志さん

颯太さん

真一さん

伊織さん

穂乃香さん

真心さん

純さん

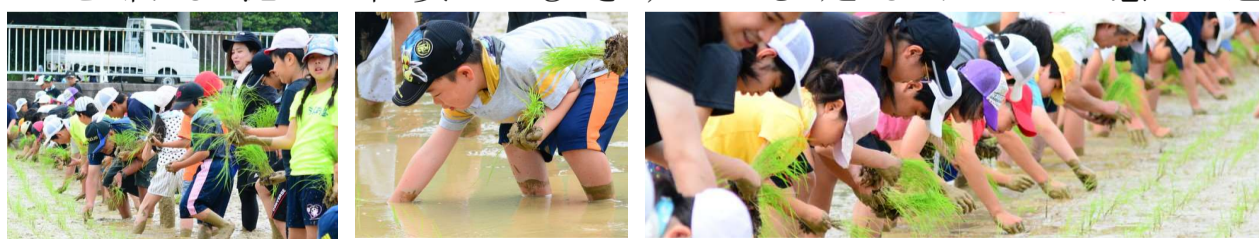
大空さん

成香さん

和輝さん

5・6年生

5・6年生の田植え活動の様子。子どもたちは真剣な表情で、苗を丁寧に植えています。



嘉帆さん・紬さん

5月13日(金)塩水選、20日(金)種まき、25日(水)発芽確認と育苗：小学5・6年生が、大切に育ててきた早苗を植える日が来ました。6月10日(金)田植えに絶好の曇天の下、開会式は大空さんの司会で進行。純さんの挨拶では、今日のめあて「協力と感謝」が発表されました。6年生が行い、田植えに取りかかりました。泥に足を踏み入れると、あちらこちらから歓声が聞こえてきました。ひもに付いた赤いマークを目安にして、3本ずつ苗を取って、優しく泥に差し込みます。1列が終わると、あとわずさりして、

玉小米「田植え」

次の1列：1時間半ほどで、水田一面を植え終わりました。高学年・中学生は手慣れていて、みるみる作業が進みました。また、低学年の子どもたちの面倒を見ている姿もあり、頼もしさを感じました。閉会式の前に、側を流れる水路で泥を落とし、水道でも洗いました。閉会式では、嘉帆さん・紬さんが挨拶を行いました。約1か月間、苗のお世話を続けてきた小学5・6年生の皆さん、お疲れ様でした。

ジオパーク記念イベント 匠也さん意見発表



発表する匠也さん
本ジオパーク認定記念
「五島がジ
(土)、日
5月28日



叶えるた
めに今は
勉強を頑
張る。そ
して一度

オパークに！」というイ
ベントが開催されまし
た。市内の中高生の代表
4名が意見を発表しまし
た。本校の中学2年生の
野崎匠也さんも、代表と
して発表しました。
3学期の健全育成協議
会主催の意見発表会と同
じ「魅力あふれる五島」
と題しての発表でした：
五島には、ヘトマトやチ
ヤンココなどの伝統行事
がたくさんある。大宝の
砂打ちでは、幼い頃から
地域の人々の優しさを感じ
ていた。このような伝
統を絶やささないために
は、みんなで理解し合う
必要がある。自分の夢を

は五島を離れることにな
るが、将来は五島に戻り、
伝統行事を守る人になり
たい。：島の伝統行事を

守りたいと語る匠也さん
のような若者の声を聞く
と、頼もしさや、心強さ
を感じます。

生徒総会

小学5・6年生も参加



6月2日
(木) 生徒総
会を行いました
た。今後の活
動計画などを
審議しまし
た。説明や質
問に対する答



「小中学生が一
緒に学ぶ活動を
まとめ、組織も
含めて統合し、
効率的・効果的
に活動できない
か検討を進めていく」と
伝えられました。

弁は、生徒会長の颯太さ
ん、専門委員長の真一さ
ん、子母心さんが中心に
行う形で進行了ました。
事前に議案書をもとに学
級で討議された意見も発
表されました。

講評では、18歳になれ
ば大人として選挙権が与
えられる。学校の生徒会
活動は、民主主義を学習
する場面の一つなのだか
ら、個人の意見がもつと
取り上げられる総会であ
ってほしい。昔話になり
ましたが、中学・高校の
総会は楽しかったとも話
しました。個人の意見に、
「賛成」「反対」と声か
上がるなど、盛り上がっ
たと： 世間知らずのく
せに、社会を斜めに見て
いた生意気な自分を思い
出しました。



生徒総会には、小学5
・6年生にも参加して
らいました。
小学校は委員
会活動、中学
校は生徒会の
専門委員会活
動として、同
じような活動
が別々に行わ

生徒総会には、小学5
・6年生にも参加して
らいました。
小学校は委員
会活動、中学
校は生徒会の
専門委員会活
動として、同
じような活動
が別々に行わ

よじろじゆ

今年5月15日(日)、昭
和47年に沖縄が日本に返還
されてから50年の節目の日
を迎えました。私は昭和56年から4年間を沖縄で
過ごし、「戦争や、一般の人々の生活と基地」を
意識せざるを得ない景色や出来事を見てきまし
た。そして、このときに感じたことを、機会ある
ごとに子どもたちに伝えてきました。昨年の8月
9日には、青い空と青い海だけではな沖繩につ
いて、中学生に話をしました。

私の話の根っこには『他人事にしない』があり
ます。8月9日の長崎原爆：長崎県では、毎年、
自分事として様々な取組が行われています。学校
では日曜日であつても登校し、平和について考え
ます。11時2分にはサイレンが鳴り、誰もが当た
り前に黙祷をします。大学生の時、他県の人に「8
月9日にはサイレンが鳴って黙祷をする」と伝え
ると、「へえー、そうなんだ」：長崎県民の毎
年の自分事は、他県の人には他人事であることを
実感しました。
沖縄で起きた惨劇や基地問題を、自分事にする
のは難しいことです。せめて、6月23日の「慰霊
の日」の報道を通して、他人事にしないでほしい
と願います。同じように、現在ウクライナで進行
中の惨劇についても：身近な場面として学校で
は、近くにいる人の困り感を他人事にしない感覚
を忘れないでいてほしいし、大人になつてもそう
あつてほしいと願います。

『他人事にしない』をキーワードに、「命を見
つめる教育週間」の初日、6月27日(月)の全校
朝会で子どもたちに話をしたいと思ひます。

あゆみかき

●6月15日(水)、中学
1・2年生が修学旅行に
出発する予定です。健康
チェックを行つていま
すが、今のところ全員揃
つて出発できるものと思
ひます。

●修学旅行の様子は、昨
年度の修学旅行と同じよ
うに、FUDOU(タンブラ
ー)というSNSを使つて発
信していきます。(旅行
中の学校HPの更新はあ
りません)1・2年生の
保護者様には、別文書で
アドレスをお知らせして
います。できるだけリア
ルタイムでの発信に努め
ます。ホテル到着等の連
絡を学校から発信するこ
とはないので、ぜひご活
用ください。

●最後に、学校HPの宣
伝です。今年度は週3回
以上の更新を目標に掲げ
ました。校長としての最
後の年度になるので、こ
れまで以上
に情報発信
に努めてい
きます。

学校HPへ

